



# 佐高

スーパー グローバル ハイスクール

# SGH通信 2019

No. 24 (2019年10月4日発行)

佐高 SGH ファイル

## 高大連携課題研究プロジェクト 高1 留学生指導 第1回

2019年9月28日(土)に本校を会場として高大連携課題研究プロジェクト高1留学生指導が行われました。宇都宮大学から留学生や留学経験者の学生13名が来校し、高校1年生の課題研究について、研究内容や進め方などアドバイスをしてくれました。今回も宇都宮大学の松金公正教授にご尽力いただき、感謝申し上げます。



### 留学生指導生徒の振り返り

三澤さんとの話を通じて様々な意見をいただきました。お話の内容としては現在に至るまでの行動の内容、これからやることに加え、これからについての内容を一緒に考えてくれたり、アドバイスを下さいました。また、中間発表や領域別発表会までの期間を視野に入れた上で、特定の期間までにやることのすすめや、中間発表の仕方などを教えてもらい、今やることなどの方針が強くなりました。特に、失敗も成果であり、評価されると言われた時は、自分たちの研究は失敗しても次につながられるという考えを持つことができ、自信ができました。活動については、三澤さんからも「面白い」の一言をもらったので、中間発表で自分たちの成果をしっかりと伝えられたらいいなと思いました。 1年1組 中村拓真 外来魚研究

今回の留学生指導を通して、様々な知識を得ることができました。例えば、初めて黒唐揚げを知った人には歴史的な部分から紹介するとより黒唐揚げについて理解しやすくなったり、今とるべきアンケートの内容についてアドバイスを頂いたり、とても分かりやすく教えて頂きました。特に印象に残ったのは「活性化」について定義・概念づけをして、そこから現状や何が足りないのか、何が理解できていないかを把握し、結果につなげていくというより良い課題研究にするための道についての話でした。とても濃厚な時間でした。今回の経験を課題研究につなげていきたいです。 1年1組 長谷川羽菜 街づくり研究



実際に大学生の意見を聞いて、気が付かなかったことや足りないところを知ることができました。調査方法について助言をもらったので、参考にしながら進めたいと思います。この機会に、これまでの成果や今後の目標、役割分担の確認ができたのでできるだけ深く調べて中間発表に臨みたいと思います。私たちの班はSNSを使った地域活性化がテーマで、地域活性化を盛り上げるには私たちでは難しいことですが、イベントなどに参加して少しでも確実に進め成果を残せるよう頑張ります。 1年2組 大塚彩奈 SNS研究

自分たちが今まで調べてきたことを最終的にどのように結論に持っていきたいかを、アドバイスしていただき、明確に目標を決めていくことができたと思います。来月の26日には宇都宮大学で、自分たちが調べてきたことを発表するので、アドバイスされたことをもとに、パワーポイントやポスター作成をしていきたいです。また、データは人数よりもパーセントで出した方が分かりやすいということが分かったので、まずはデータの見直しから始めていきたいです。 1年2組 荒川結一郎 医療問題研究

大学生に的確なアドバイスをもらうことができました。とても参考になるものでした。どのようにまとめればよいかや原因をいろいろな視点で見るなどこれからの活動に生かしていけるようなアドバイスばかりでした。また、こんな考えもあるんだと思うことが多く、さすが大学生だなと感じることが多くありました。大学生にアドバイスをもらうことができよかったと思いました。今日言われたことを忘れないようにして、今後の研究に生かしてよりよい発表にできるようにしたいです。 1年3組 和田優芽 子供の睡眠時間研究

留学生のお話を聞いて、空き家を生かしていく上で地域に貢献できるか、また、実現可能なものであるかについて深く構想を練らなくてはいけないと感じました。もし、私たちがイベントを計画するとしたら、その使用した空き家を一時的なものだけでなく、継続してその後の利用ができることが大切であるとわかりました。イベントを計画する上での対象の層やイベントを行ったことで期待できる効果など、まだまだ不透明なことがたくさんあるので、中間発表までにしっかりと決め直していく必要があると感じました。 1年3組 小林瀬里 空き家研究

留学生の方からのお話で今度どうしたらいいのか考えたり、現状をしっかりと知る必要があると感じました。今後考えなければならぬ課題として、社会人などの仕事をしている人たちが受信できる「時間」を作ることだと考えました。ただ休日の日などにがん検診を行うとせっかくの休みなのにと思えない人が多くなってしまったので、会社でがん検診を受けることを義務化してもらうなどの対策をとる必要があると思いました。また、山形県のがん検診率が60%ととても高いことを知ったので、なぜ高いのか調べたいと思いました。そして、なぜ佐野市のがん検診には人が来ないのかという根本的な話をしっかりと考えなくてはならないとアドバイスを頂きました。 1年4組 黒尾文音 がん検診率研究

今日のSGH留学生指導で、宇都宮大学の佐藤さんに話を聞いたり、アドバイスをもらったりしました。自分たちは、足利フラワーパーク周辺の活性化について研究しています。最終的に案を提案するという方向になりました。提案するとき、自分たちの意見も大切だけどフラワーパーク周辺に住んでいる人にアンケートを取るなどした方がよいとアドバイスをもらいました。また、プレゼンをする中で、データが大切だと改めてわかりました。データがあることで強い根拠になります。だから、これから先、もっと研究をする必要があると思いました。限られた時間の中で、しっかり行動して、いい課題研究を進めていきたいです。 1年4組 小森谷聡美 足利フラワーパーク研究